

越谷事務所の活動

NEWS ウッドデッキで障がい者の野外劇 ～「越谷・水辺の市」と合同の「協同まつり」



「山にこもりましょう巡業団」による演劇

今年の「協同まつり」は、「越谷・水辺の市」と合同で、大勢の市民を集めて5月3日に開催されました。

その中でひときわ目を引いたのが、県内各地の障がい者らのグループ「山にこもりましょう巡業団」(団長:橋本和憲さん)による同名の演劇でした。

この劇は生まれて間もないわが子を「異常」と診断されたショックで、夫に「山にこもりましょう」と口走った山田町子さんの体験が原作です。

その後、娘・葉子さんは地域の小・中学校に学び、浪人の後、定時制高校に入りました。巡業団の面々は、通常学級、特別支援学級、特別支援学校と出身校がさまざままで、必ずしも地域で「共に学ぶ」を共有しているわけでもありません。

そもそもこの体験談を読めないか、読んでもよく分からないからこそ、劇にして演じつつ、観る人々と一緒に感じたり、考えたりしているように始めたものです。出演者は親である町子さんではなく、娘である葉子さんの立場。いわば作中人物がいのちを吹き込まれて動き始めたのです。しかも一人ではなく、沢山の分身が、孫悟空のような分身たちが、母なるお釈迦様の掌の上で生々しく流転するかのよう。

重い障がいのある子も、生活困窮

者、ひきこもりの若者、さらには子育て中の主婦や高齢者も、グローバルな視野での東京一極集中の開発計画の下では、要支援者とだけみなされます。でも、身近な地域を見据えれば求められる仕事がいっぱいあり、暮らしに足を置いたさまざまな人々の関わりが問われています。

(山下浩志)

◎「協同まつり」

2012年「国連の国際協同組合同年」を契機に発足した「仕事起こし懇談会」が年1回実施しているイベント。ワーカーズコープ、ワーカーズコレクティブ、NPO、障がい者団体などが参加している。

URL:e-kyodo.sakura.ne.jp/shigotookoshi/index.html

◎「越谷・水辺の市」

「越谷にぎわいの会」が主催して毎月第二火曜日に開催している。昨年9月から始まった。

URL:e-kyodo.sakura.ne.jp/mizubenoiti/



越谷のNPO 紹介

NPO法人 にじさんぽ

特定非営利活動法人「にじさんぽ」は、ソーシャルワークに関する事業を行い、人と人とのつながりによって、ありのままでも安心できる居場所づくりや地域における共生社会づくりの構築に貢献し、人々の心身の健康に寄与することを目的として活動しています。

現在は、ソーシャルワーク事業では、訪問相談・来所相談や学習支援を行っています。今後は、メンタルヘルスに関する関わりを行う予定です。研修・講習会事業では、健康教室を月2回、越谷中央市民会館で行っています。また、年2回程度のペースで「にじさんぽセミナー」を開催しています。雇用促進事業では、就労の場、就労体験、障害福祉サービス事業所商品販売促進を目的として、「水辺の市」やお声掛けいただいたイベントに出店しています。福島県南相馬市の「NPO法人あさがお」、「南相馬市原町社会福祉協議会」、相馬市の「相馬広域こころのケアセンターなごみ」とともに被災地域の皆様に、少しでも何かができればと活動協力をさせていただいております。(NPO法人にじさんぽ 代表/不破 清美)



◎NPO法人 にじさんぽ

TEL : 080-4660-2430

FAX : 048-610-8586

Mail : pay_it_forward9@yahoo.co.jp

URL : <http://www2.tbb.t-com.ne.jp/sol/nijisampo.html>

* 「にじさんぽ」の活動をより活性化するため、ご協力をいただけるかたはお声掛け下さい

